

一般社団法人 各務原青年会議所 2026年度 サマリー

	事業内容	番号	設置背景	設置目的
つなぐみっぽら 委員会	まちづくり	①	百十郎桜は古木が多く、樹勢が衰え保護や管理が必要な桜もいくつかあり、各務原のまちから桜が消えしまう未来が近く迫りつつある。行政と市民のハブに各務原青年会議所がなり、各務原の百十郎桜を守るという主体的な意識を市民に創出が必要です。	桜の現状を周知し、関わるすべてのひとに対して、桜を守りたいと思う気持ちを高めることで、強固なパートナーシップを築きます。
人づくり 委員会	ひとづくり	①	地域が活性化するためにまちづくり運動を展開し続ける必要があります。その原点はリーダーを輩出することにあり、運動を展開するためには、ひとに影響を与え先導できるリーダーの存在が必要不可欠です。	ひとりひとりがリーダーである自覚を持ち、リーダーシップを学び、主体的に活動することを目的とします。
		②	リーダーの本質に触れる機会の減少により、若者のリーダー意識が希薄化している現状は、まちの持続的発展の大きな問題となっています。次世代を担う人財に、リーダーとしての意識改革を行う必要があります。	リーダーとしての意識が芽生える機会の提供し、次世代のリーダー創出の礎となることを目的とします。
創立55周年 実行委員会		①	55周年の節目に、今までの歩みを振り返り、諸先輩方の「想い」を継承し、私たち現役メンバーが各務原青年会議所の一員であることの責任と誇りを持つ必要があります。	各務原青年会議所が持続的な組織となるよう「想い」を次世代へと紡いで、継続して存在していく組織としての姿勢を示します。
会員拡大特別室	会員拡大	①	各務原青年会議所がある時代から各務原青年会議所もある時代へと移り、拡大候補者の方々から私たちの組織を選ばれていない現状があります。各務原青年会議所の魅力を十分に伝えきれていないうことがあげられます。たくさんのひとに各務原青年会議所に触れる機会を提供することが必要です。	全員拡大で交流の機会を増やし、メンバーの個性を生かした拡大運動を展開して、多くの仲間を増やします。
事務局		①	業務を遂行することだけに重きを置いていためただこなすだけの引き継ぎとなってしまっています。いいものを次世代に残していくための引き継ぎが必要です。	どのような想いで運動を起こしたのか、どのようになってほしいと想って取り組んだのか、やり遂げてどう思ったか、そのような想いを意識した引継ぎを目的とします。
		②	理事メンバーが近年変わっていない組織形態です。理事の扱い手が育たないと組織は発展せずやがて衰退してしまうので理事の扱い手の成長が急務です。	新しく理事を担ったメンバー、これから理事を担うメンバーに対し成長するための環境づくりを目的とします。
		③	組織の中でメンバーの個々人としての付き合いが薄いため、職務が違うとメンバー同士の交流が不足しています。委員会の枠組みを越えた交流の場を設ける必要があります。	各務原青年会議所で出会った、この縁を持続的なものにするための環境の創出を目的とします。